2025年 特別栽培うめ栽培暦

稲積梅の里振興会
 特産氷見稲積梅生産組合
 JA 氷見市
 富山県高岡農林振興センター

1 病害虫防除 化学合成農薬成分使用回数（慣行 10 回→特別栽培 5 回以下）

回	月	時期	幼木用	散布薬剤名		薬剤の調合 (水100%当り)	10a当 散布量	対象病害虫	注意事項
1	3	中下旬 (葉芽発芽 前まで)		ムッシュボルドーDF (銅水和剤)	500倍	200g	200% _水	かいよう病	※かいよう病重点防除時期 ※かがみ類多発樹は、枝幹の 越冬虫をワイヤーブラシ等で 削り落とし密度を減らした後、 機械油乳剤95(14倍)を開花前 (2月下旬)までに散布する
2		上旬		マイコシールド (抗生物質剤)	1,500倍	66g	200% _水	かいよう病	※かいよう病重点防除時期
3	4	中下旬	○ ○ ○	オーソサイド水和剤80 ダイアジノン水和剤34 マイリノー	1,000倍 1,000倍 10,000倍	100g 100g 10mL	250% _水	黒星病 シカムシ類、アブラムシ類、ハマキムシ類 展着剤	※黒星病重点防除時期
4	5	上旬 ~ 中旬		スコア顆粒水和剤 スミチオン乳剤	3,000倍 1,000倍	33g 100mL	300% _水	黒星病、すす斑病 アブラムシ類、ハマキムシ類	※黒星病重点防除時期 ※カメムシ類の発生が多い場 合は、スミチオン乳剤をアクタ ラ顆粒水溶剤2,000倍(7日前ま で、2回以内)に変更する
5	12	上旬	○	石灰硫黄合剤	8倍	12.5% _水	250% _水	縮葉病	

※除草剤は使用不可。 ※下線部は前年からの変更点です。

うめに対する農薬安全使用基準

薬剤名	使用時期	使用回数
機械油乳剤95	—	—
ムッシュボルドーDF	葉芽発芽前まで	—
マイコシールド	収穫21日前まで	4回以内
オーソサイド水和剤80	収穫21日前まで	3回以内
ダイアジノン水和剤34	収穫21日前まで	2回以内
スコア顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内
スミチオン乳剤	収穫14日前まで	2回以内
アクタラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2回以内
石灰硫黄合剤	発芽前	—

※上記は2025年1月21日現在の登録内容です。散布に当たっては再度使用基準を確認しましょう！

2 施肥例（10a当たり） 化学肥料窒素成分50%以下

施用時期 (呼称)	肥料名	施用量 (kg)	成分量 (kg)		
			N	P	K
7月中旬 (礼肥)	BM有機果樹専用	30	2.4	2.1	2.1
11月 (基肥)	発酵けいふん 苦土石灰	300 120	9.0	21.0	12.0
計 (化学肥料窒素成分)			11.4 (1.2)	23.1	14.1